

スポーツの力で脱炭素行動を社会に波及

浦安 D-Rocks

【住所】東京都中央区八重洲一丁目4番16号 東京建物八重洲ビル 【TEL】03-3274-0111
【URL】<https://tatemono.com/>

緩和分野

活動概要

取組の概要

千葉県浦安市を本拠地、「NTTジャパンラグビー リーグワン ディビジョン1」に所属する株式会社NTT Sports Xが運営するラグビーチーム「浦安D-Rocks」は、環境・教育・福祉などの社会課題解決に貢献する取組を実施。特に脱炭素社会の実現に向けて、業界内でも先駆的に温室効果ガス排出量の可視化や再生可能エネルギーの導入などを進め、スポーツの枠を超えた共創型クラブとして、持続可能な地域社会の実現を目指す。

気候変動対策としての貢献度

スポーツを軸とした緩和アクションを展開。環境への関心が低い層にリーチ可能な競技特性を活かし、社会全体の行動変容を促す。メディアやチーム公式SNS、共同プレスリリース等を通じて緩和についての情報発信を実施。この取組はリーグ全体の環境啓発力を底上げするとともに、スポーツを通じて社会的関心を喚起しました。スポーツチームとしての求心力と発信力を活かし、多様な層への行動変容を促す社会的仕組みを構築。

期待される波及効果

スポーツ団体、自治体、企業との連携を強化し、スポーツを「脱炭素行動の入口」とする仕組みを展開。ファンがカジュアルに参加しやすい設計により、環境意識の低い層も自然とアクションに巻き込まれていく構造により脱炭素の輪を訴求。スポーツの発信力を活用し、自らの取組だけでなく、他の団体の好事例も紹介・発信するメディアを実施。スポーツを起点とした脱炭素の社会的認知と行動変容の波を、より広く、より深く社会に届ける。

刷新的要素

クラブハウスのGHG排出量は2024-25シーズンに611tから146tへと約76%削減。公式戦ホストゲームにおけるスタジアム排出量は70.41tから0tへと100%オフセットを実現。これらは排出量の可視化、再生可能エネルギーの導入、「CO₂ゼロ旅行[®]」やJ-クリケットの活用で達成。環境省デコ活応援隊との協働のもと、デコ活アクションをファンと共に実践。日本の約70%が日常行動での環境意識に対して無関心層であると現状において、その層の行動変容を促した。

今後の計画、持続的な展開の展望

これまでの先進的な脱炭素化の取り組みは、今後、活動の確実な定着と質の向上を目指すフェーズへと移行します。確立したシステムやノウハウの深化を通じて、活動の実効性と持続可能性を強化します。特に、スポーツを通じた環境意識の醸成は、ファンや地域社会への自律的な波及効果を生む仕組みとして、継続的な評価と改善を行っていきます。外部環境の変化に対応できるよう柔軟性を確保しつつ、息の長い社会貢献活動を着実に展開してまいります。



試合でのカーボンオフセット実績告知

講評

スポーツチーム・ファンを脱炭素化の取組に巻き込んでいくとする緩和対策の観点が評価のポイント。SFSPLの旗艦プロジェクト、エリートエイトにも選出された。クラブハウスの排出量の可視化と定量的削減を実施した上で、再資源化、再エネ体験を取り入れる活動等は地域、企業はじめ多様な人々とサステナビリティが共創でき、社会への波及効果を期待する。